

幌延町地域公共交通計画（案）修正表

資料名	ページ	箇所	訂正前	訂正後	備考
本編	目次	(4)		(5) 路線バス及び送迎交通等を維持するための費用	
	P. 1	1-1. 計画策定の目的	「令和3年10月からハイヤー事業への運賃助成」	「令和3年10月からハイヤー利用者への運賃等助成」	
	P. 3	1-3. 計画の区域		幌延町全町図に宗谷管内地図を追記	その他P. 20～25、29、32、36、41、43、45、59、67、69、概要版も同様
	P. 29			図の時点をもととしてバイパス延伸	時点変更
	P. 30	⑦観光施設等	「オントルイ風力発電所の風車群」	「オントルイ風力発電所の風車群」	
	P. 31		「幌延町農業協同組合本所」	「JA幌延町本所」	P. 33図中の表記も変更
	P. 31		「幌延町農業協同組合本所問寒別支所」	「JA幌延町問寒別支所」	
	P. 38	(3) ハイヤー	表下部「町内ハイヤー町内ハイヤー利用者数の推移」	「町内ハイヤー利用者数の推移」	
	P. 38	(3) ハイヤー	「※本町在住の70歳以上の方、70歳未満で運転免許証又は自家用車を保有せず、身体障害者、療育・精神障害者保健福祉手帳・特定受給者証を持っている方、運転免許証を自主返納した方に対してチケットを配布し、ハイヤー運賃の一部助成を行っています。」	「※幌延町高齢者等交通費助成事業」の略称で、本町在住の70歳以上の方、70歳未満で運転免許証又は自家用車を保有せず、身体障害者、療育・精神障害者保健福祉手帳・特定医療費受給者証を持っている方、運転免許証を自主返納した方に対してチケットを配布し、ハイヤー運賃の一部助成を行っています。	制度の正式名称を記載した
	P. 39	⑤貨客混載事業	「宅配事業の効率化と地域交通インフラの活性化を目的として、平成30年12月から天塩ハイヤーと佐川急便にて貨客混載事業を展開しています。天塩ハイヤーの業務車両を活用した宅配事業を実施しています。」	「宅配事業の効率化と地域交通インフラの活性化を目的として、平成30年12月から佐川急便とJR北海道が展開している貨客混載事業において、天塩ハイヤーが業務車両を活用して町内宅配業務を請け負っています。」	実施主体が、JR北海道と佐川急便のため
	P. 46	(4)	(4) 路線バス及び送迎交通等を維持するための費用	(5) 路線バス及び送迎交通等を維持するための費用	() 内番号修正
	P. 46	【町内送迎サービス】	・「ハイヤー利用助成事業」 ・「天塩ハイヤー」	・「ハイヤー運賃等助成事業」 ・「天塩ハイヤー(株)」	沿岸バス(株)と整合
	P. 48	(3) 調査の実施方法	「JR問寒別」	「JR問寒別駅」	
	P. 48	(3) 調査の実施方法	「幌延駅」		
	P. 52	(2) 問題点	「鉄道利用状況調査では幌延駅を除き、雄信内駅と糠南駅は1日数名、下沼駅、南幌延駅及び問寒別は利用がない状況」		
	P. 52	②地域及び公共交通の概要	「・町内6駅のうち、～「幌延駅」と「問寒別駅」		
	P. 53	(2) 問題点	「幌延駅以北」	「JRO〇駅」に表記を統一	
	P. 66	(2) 町内公共交通のネットワーク形成 ①幌延地区におけるデマンド交通の検討 【事業概要】	「幌延駅前」		
	P. 70	⑤幌延・問寒別・中川連絡バス等（患者輸送車両等）の運行維持 【事業概要】	「問寒別・天塩中川間」		
	P. 51	(2) 鉄道利用乗降調査 【列車の利用状況】	①②④⑤⑥	①②③④⑤	数字の順番整理
	P. 55	(2) 問題点	「・ハイヤー運転手の9割は50歳代以上～」	「・ハイヤー運転手の9割は50歳代以上～」	
	P. 56	(1) 基本理念	「問寒別地区の地域づくりビジョンの問寒別地区の将来像」	「問寒別・地区地域づくりビジョンの地域将来像」	「の」が続いていた
	P. 57	方針2	「～暮らしていけるよう、JR幌延駅を乗継拠点とする住民と来訪者の交流拠点や、JR問寒別駅を乗継拠点とする買い物や飲食、交通拠点など生活のほとんどの用事が済むような機能を配置します。」	「～暮らしていけるよう、JR幌延駅を鉄道と町内公共交通の乗継拠点とし、役場周辺に路線バスと町内公共交通との乗継機能を兼ね備えた住民と来訪者の交流拠点の形成を目指します。」	概要版P. 3表中「○乗継拠点」の「性格・役割」も同様に変更
	P. 58	(3) 公共交通の機能分担と性格・役割 表中「○乗継拠点」	「・JR問寒別駅周辺に生活のほとんどの用事が済むような機能を配置」	「・JR問寒別駅と接続する生活のほとんどの用事が済むような小規模多機能拠点を形成」	
	P. 60	方針1		評価指標を具体化	
	P. 64	①現状	「（通称：黄線区）とされている」	「（通称：黄線区）とされている」	
	P. 64	②特急はぼろ号の維持・確保	「～基本とします。」	「～基本とします。」	
	P. 65	④豊富羽幌線の維持・確保 【現状】	「・輸送人数は～います。」	「・輸送人数は～いる。」	
	P. 66	(2) 町内公共交通のネットワーク形成 ①幌延地区におけるデマンド交通の検討	「・また、現行制度では4割弱の方が給付されている「ハイヤー運賃等助成チケット」の枚数では不足している状況である。」	「・また、4割弱の方が、「ハイヤー等運賃助成制度」の現行チケット枚数では不足している状況である。」	
	P. 68	③問寒別地区におけるデマンド交通の検討 【事業概要】	「公共・公共施設間」	「公共・公益施設等間」	
	P. 71	⑥スクールバスの一般混乗 【事業概要】	「改めて」	「あらためて」	
	P. 74	事業概要		【総合的な公共交通マップ・乗り方ガイドの作成】を追加	
	P. 73	②モビリティマネジメントの推進 【事業概要】	「スタンプラリーなど」	「スタンプラリー、」	
	P. 74	(3) 町内公共交通の維持と利用増進 ①地域からのボランティアとしての参加に積極的な運転手の募集とライドシェア 【事業概要】	「・合わせて、」	削除	
	P. 77	(2) 達成状況の評価		定量的目標設定を方針との関係性を示す	※3/1版はP. 75
	P. 77	(2) 達成状況の評価	「○目標：～」、「○目標：～」	「○目標2：～」、「○目標3：～」	
概要版	P. 2	目標2	指数 I	指標 I	
	P. 3	表中 機能分類「○乗継拠点」		「役場周辺地区」を追加	